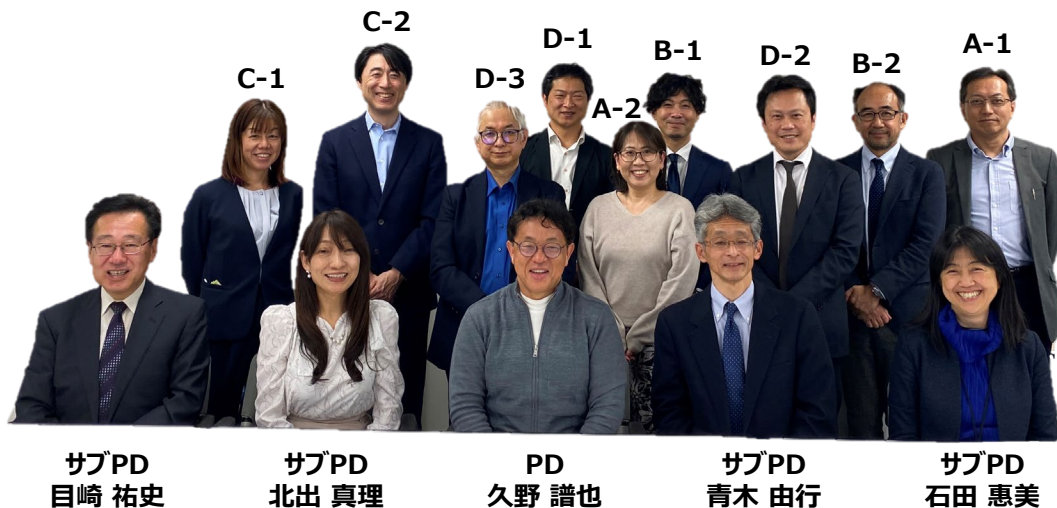


# News Letter



## Topic 1 研究開発テーマ、決まりました



**A-1** 産業技術総合研究所 人工知能研究センター  
首席研究員 本村 陽一

**コミュニティと共進化するデジタルツインによる次世代型包摂的まちづくり手法と包摂性評価指標の開発**

**B-1** 産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門  
研究グループ長 木村 健太

**自律性の向上を促す行動変容介入サービスの基盤技術の研究開発**

**C-1** 筑波大学 人文社会系  
准教授 松島 みどり

**地域住民の包摂性向上と妊婦・子育て女性のWell-being最大化に向けた社会技術の開発**

**D-1** パナソニックホールディングス株式会社 事業開発室  
スマートエイジングプロジェクト 総括担当 山岡 勝

**高齢者と遠隔家族をつなぐデジタル同居サービスの開発**

**D-3** 慶應義塾大学 経済学部 ファイナンシャル・  
ジェントロジー研究センター センター長 駒村 康平

**高齢者が生涯にわたって自立的に経済活動ができる包摂的な社会経済システム構築**

**A-2** 立命館大学 スポーツ健康科学部  
教授 清家 理

**多様性寛容の共創システム開発-『違いがあっても大丈夫』と共育しあえるコミュニティ構築-**

**B-2** 株式会社アシックス スポーツ工学研究所 人間特性研究部  
部長 田川 武弘

**健康無関心層を含めた行動変容の促進による心身の健康を維持・増進するサービスの開発**

**C-2** 順天堂大学 国際教養学部  
教授 田村 好史

**女性のボディイメージと健康改善のための研究開発**

**D-2** 久留米工業大学 インテリジェント・モビリティ研究所  
所長 東 大輔

**移動の課題を克服し高齢者や障がい者の自律を促進する外出支援サービスの開発**



2023年10月から月1回、全研究開発テーマが集合する全体マネジメント会議を開始しています。本会議では、研究開発テーマから進捗報告を行い、PD、サブPD、ピアレビュー委員、内閣府プログラム統括チーム評価委員等とのディスカッションを重ね、迅速に課題の方向性の意思決定を可能とするマネジメント体制を構築しています。

# Topic 2

## YouTube、いきなりバズった!?

C-1筑波大学で実施している、無関心層への認知率向上・普及する際の溝を越える社会技術の確立を目指すテーマでは、インフルエンサーと番組構成の工夫で一定数の無関心層の引き込みを行う広報技術の一部を、「ママもまんなか」子育て支援プロジェクトとして研究開発しています。

その一環として、YouTube番組「ママもまんなか!スマイル健幸カフェ」で公開した、人気インフルエンサーのロバート秋山さんによるイヤイヤ期の子供をテーマにした動画では、45万回再生（2024年2月時点）を記録し、所謂「バズった」結果に。また同番組の公開収録イベントを千葉県柏の葉で開催。同じく人気インフルエンサーのカジサックさんをゲストに迎え、多くのママ、パパ、子供たちと共にトークショーを実施しました。今年度の結果をもとに、更に研究開発を進め、コンテンツを充実させていく予定です。進化をしていく研究開発にぜひ、ご期待ください。



ママもまんなか!スマイル健幸カフェ  
<https://www.youtube.com/mpupjp>

# Topic 3

## 各テーマで、多くのメディアに取り上げられました

### A-2

2023年11月JNN昼ニュース（全国）及びRSKイブニングニュース（岡山・香川限定）にて報道。研究開発責任者の立命館大学 清家理先生、当事者として協力参加をしているNPO法人レインボーハートokinawa 理事長竹内清文さんへの取材。



### D-1

2023年9月分担研究開発機関と共同でプレスリリース。  
<https://news.panasonic.com/jp/press/jn230926-2>

また2023年11月には協力参加者であるIoTを使った遠隔介護経験者の和田 亜希子さん著『親が心配な人の見守りテック〜スマホでできるスマートホーム化の極意』のあとがきにて取り組み内容を紹介。



[https://www.fsa.go.jp/news/r5/20230829\\_resultandplans.pdf](https://www.fsa.go.jp/news/r5/20230829_resultandplans.pdf)



### D-3

2023年度の金融行政方針の「昨年度の実績と本事務年度の作業計画」において、利用者目線に立った金融サービスの普及の中に、「内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム」における、高齢者の認知機能に合わせた金融取引の支援に係る社会実装のプロジェクトが開始されたところ、高齢顧客の金融取引における課題解決に向けた研究へのサポートも行っていく。」として掲載。

また2023年11月には分担研究開発責任者の京都府立医科大学 成本迅先生の取材記事が日本経済新聞へ掲載。

各テーマのイベント予定、お知らせは、下記Webページでも公開していきますので、ご確認ください！



国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

〒567-0085  
 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8  
 TEL: 072-641-9870 FAX: 072-641-9831  
 Mail : sip3-housetsu@nibiohn.go.jp

〒100-0013  
 東京都千代田区霞が関3-4-2 商工会館7階  
 TEL : 03-6273-3511 FAX: 03-6273-3512



<https://www.nibiohn.go.jp/sip3-housetsu/>